

Pastor JD 説教「ガラテヤ人への手紙 3 章 ・ 聖霊のバプテスマ」

<https://youtu.be/lsQZDji1vFE> (英語)

ガラテヤ3章1-5節

“ああ、愚かなガラテヤ人。十字架につけられたイエス・キリストが、あなたがたの目の前に、あんなにはっきり示されたのに、だれがあなたがたを迷わせたのですか。ただ、これだけをあなたがたに聞いておきたい。あなたがたが御霊を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも信仰をもって聞いたからですか。あなたがたはどこまで道理が分からないのですか。御霊で始まったあなたがたが、いま肉によって完成されるというのですか。あなたがたがあれほどのことを経験したのは、むだだったのでしょうか。万が一にもそんなことはないでしょうが。とすれば、あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で奇跡を行われた方は、あなたがたが律法を行ったから、そうなされたのですか。それともあなたがたが信仰を持って聞いたからですか。”

愛する天のお父様、この時、聖霊によって私達の意識を集中させてください。主よ、あなたが私達に与えようとするものを破壊しようとする、あらゆるものを遠ざけてください。

私達は御霊が教会に伝える事を聞く耳を持っています。イエスの御名によって、アーメン。

今日のタイトルは“聖霊のバプテスマ”です。

聖霊のバプテスマについては、多くの人の間で争いの元となり、ある人の間では、混乱の元となっているかもしれません。悲しい事に、この争いや混乱によって、私は聖霊のバプテスマから離れていたことがあります。主と歩み始めた、初めの頃です。今で35年になりますが、救われて初めの頃、私は終焉説として知られている事を教えられました。終焉説とは、聖霊の賜物は、使徒たちの時代に終わった事、もう必要がないという事です。

何年も経ってから、本土に居たころです。私は、主の前に顔を伏せていました。文字通り主の前に、顔を伏せ、床に伏せていました。私は神に本当に嘆願し、私は聖霊を求めました。聖霊によるバプテスマを求めたのです。そして、それは、私の人生を変えました。全てを変えたのです。

ここに聖なる怒りがあるのですが、なぜなら、主が私の人生にしてくれていた事を奪われていたからです。聖霊の賜物、聖霊のバプテスマは今日の信者の為ではないという嘘に、私は初めの何年も囚われていました。聖霊のバプテスマは、私の結婚を変え、私の主への仕え方も変え、全てのビジネスや、全ての人間関係を変えました。この時まだ子供は居ませんでした。主は子供が出来る前に、聖霊のバプテスマが必要だと思っていたと思います。それは私の人生全てを変えたのです。

私は、自分の前の教えをチェックしていました。そして発見したのは、聖霊のバプテスマを教えたのは、かなり前の事だったのです。私が今日のメッセージの準備を始めた時、主が本当に私に示し始め、新しく神の霊が注がれ、私を満たしました。そして、それは本当に豊かに明瞭だったのは、今日、私が聖霊にバプテスマについて話をするという事です。

私は、今日私達が共にいる時に、神がしてくださると願い、祈っています。特に、人々のあらゆる混乱が、クリアになる事を祈っています。その理由はこれです。牧師としての私の気持ちを理解していただきたいのですが、私は人々が、私が人生で経験したことを経験して欲しいのです。つまり、あなたの人生で何か良い事があった時、

他の人にシェアしたくなりますよね。主が本当に良い方だと味わった時、他の人々にも味わってほしいと思うはずです。それが今日、私の思いなのです。もし、あなたが聖霊のバプテスマをまだ受けたことがないなら、今日、あなたが聖霊のバプテスマを受ける事を祈ります。

繰り返しますが、ここがあなたの教会か、また、ただ今日訪れただけなのかも知りませんが、それぞれ違った背景や神学や教義があることは理解しています。ただお願いしたいのは、今、心を静めて、ただ聖霊があなたに働かれることを許してください。み言葉をとおして、聖霊のバプテスマの真理を考えていきます。

ガラテヤ人の教会の間で、この深刻な問題と関係のある、ある背景を補足しなければなりません。

その問題とは、ジュダイザー(ユダヤ教の要素を受け入れたキリスト教徒)が知らない間に巧妙に教会の中に入ってきており、パウロが記していたように、彼らはこっそりと、キリストにある人々の自由に、再び律法の重荷を負わせようと思っていたのです。これが彼らの目的だったのです。そこに一緒に含まれているのは、モーセの律法の下で、割礼を受ける事の必要性です。それも、イエスキリストの救いの知識を受け入れた後でさえ、割礼を受ける事が必要だとしたのです。言いかえると、「あなたは救われたのですね、主を褒め讃えます！」「では次に、これをする必要があります。」何をしなければならぬのか？もし、あなたが異邦人なら、手術のスケジュールを組まないといけませんね。冗談なら良いのですが。あなたは、モーセの律法の下で、割礼をするために手術のスケジュールを組まないといけません。「ほんとにするんですか？」「はい。」嫌ですよ。

私は、あまり生々しくなり過ぎないように努めますが、どのようにして律法の下での割礼が、聖霊と関連付けられたのかを良く理解するために、彼らが何を教えていたか、何を考えていたか説明する必要があります。

それは、1番初めの切断をしたときすぐに、聖霊が彼らに臨まれ、聖霊を受けると信じられていたのです。あなたがドクターを呼ぶ前に理解していただきたいのは、割礼は、肉体的な外見上の事だけでなく、霊的な内面的な事なのです。それは、肉を切り取るという事は、肉を取り除くという事です。考えてみてください。使徒パウロは、ローマの教会にこう書いています。

ローマ 2:28-29

“外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、外見上のからだの割礼が割礼なのではありません。かえって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字(律法)ではなく、御霊による、心の割礼こそ割礼です。その誉は、人からでなく、神から来るものです。”

彼らが何をしていたか、何故それをしていたのかを説明したいと思います。彼らは、この時、割礼をする事で肉体的に取り除くことによって、聖霊を受けると信じていたのです。しかしながら、そうしていることは、彼らの考えでは、モーセの律法の下で聖霊を受けることになる。これが、パウロが直面していた問題だったのです。なぜなら、これは深刻な事だからです。何故かという説明は、パウロが言っています。これには、深刻な裏の意味が込められているのです。つまり、神はイエスが十字架で死んだことは無意味だった、と言うような冒涜は決して許しません。これが、パウロが言っていた事なのです。

「ガラテヤの人達、これは本当ですか！？ イエスが完全に神として、完全に人として地上に来られ、恥をものんで十字架にかかった事は、何のためだったのか！？ 無意味だったというのか！？」

「律法によって聖霊を得られるというなら、何のためにイエスは来たのか！？」

これは、本当に深刻な問題ですよ？

では、パウロは何をしたのか。私はパウロがしたことが大好きです。あなたも同じだと思います。ローマ書や、使徒の働き、第一、第二コリントを通して、彼を知る事が出来ます。

興味深いのは、パウロは「“もし”聖霊を受けたなら」と聞いたのではなく、「“どのようにして”聖霊を受けたのか？」と聞いたのです。私がなぜこれを強調したかと言うと、これは彼らが聖霊を受けるのには、1つの方法ではなく、他にもあったという事です。だから、「“どのようにして”聖霊を受けたのか」と聞いたのです。

「ああ、私はモーセの律法の方法で、聖霊を受けました。」—「本当ですか？」

「はい。私が割礼を受けた時に、聖霊を受けました。」—「本当に？」

これは何を言っているのかと言うと、“モーセの律法の方法によって聖霊を受ける”という嘘をもたらしたという事です。そういう事を言っているのです。

ところで、どうしてパウロは、こんなに厳しく言ったのでしょうか。優しさが無く、愛はどこにいったのでしょうか？とても微妙なところですね。どうして彼はそうしたのか。

ここでは、何が危うくなっていますか？何が危機にさらされているのか？それは、ただ一人、イエス・キリストにある信仰をとおして、**恵みによる救い**です。この真理が危機にさらされていたのです。だからパウロは、「ああ、愚かなガラテヤ人」と言っているのです。「あなたたちは愚かだ」と。

他の訳では、「あなたがたは何を考えているのか」とあります。「どうして、そんなにも愚かなのか。」「どうして、そんなに無知なのか。」「どうして、そんなにも欺かれているのか。」

興味深いのは、このような欺きや愚かさ、深刻な影響に対して、私たちは聖霊が必要だという事です。

驚くべき事ではありません。サタンはクリスチャンが聖霊のバプテスマを受けて、聖霊に満たされる事を嫌がっているのです。なぜなら、サタンは知っているのです。一度クリスチャンが聖霊の満たしを受けて力を得た時、その人生の全てが変わる事を。その時、もはやサタンは、醜い罪の習慣に囚われていてクリスチャンを支配することが出来なくなる。サタンはそれまで、指をならし喜んでいたので。あなたは力がないために、苦しみ、無慈悲だった。どうして、そんなにも力がななのか。なぜなら、あなたは聖霊を持っていないからです。聖霊によってのみ、私たちは聖い生き方が出来るのです。もし、私が聖霊の力を持っていなかったなら、私は何を考えるでしょう。自分の力によって、自分の肉によって、クリスチャンライフを聖く生きようするなら、どうなるでしょう。私はどうなるか知っています。自分もやりましたから。

では、どのようにして、聖霊が私たち信じる者に聖霊が臨まれる(来られる)のか。

4つの質問を出し、答えていきたいと思えます。信じる者の人生の中で、聖霊の働きに関する質問です。準備は良いですか？み言葉がたくさん出てきますが、ぜひ一緒に見ていただきたいと思います。

Q1: 聖霊のバプテスマとは何か？

キーワード…「upon: 臨む」

使徒の働き 1:8

“しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは**力**を受けます。”

「力」は原語のギリシャ語を見ると、「デウナミス」。「ダイナマイト」はこの言葉から来ています。ダイナマイトです！爆発するようなパワーです！そのような力をあなたは受けるのだと！では、いつ受けるのか？

“聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、——”です。

“そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。”

イエスが言おうとしているのはこれです。よく聞いてください。

「この力を受けるまでは、エルサレムやユダヤやサマリヤや、この世界のどこへでも行こうなどと考えることさえするな。」

この力がないなら、するな。この事について、よく考えてみてください。

これは私もよくした質問です。基本的にはこうです。

Q2:「私が救われた時、ポーンアゲインした時(新しく生まれた時)、聖霊を受けたのか？」

その時に聖霊を受けたのでしょうか？答えは、「はい。」、もしくは「いいえ。」です。説明したいと思います。

その人が救われた時に、聖霊のバプテスマを受けたというのは可能な事なのか？これは私の経験ではありません。しかしながら、み言葉には、聖霊の働きや聖霊のバプテスマの現れとして、3つの違うギリシャ語が使われています。一つ目は、ヨハネに書かれています。イエスがこう言っています。

ヨハネ 14:16

“わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもう一人の**助け主**をあなたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。”

① alongside:そばに

助け主と書かれています。英語では“Helper”と大文字で書かれています。それは、三位一体の一つが聖霊だからです。ギリシャ語では、「Parakletos」と書かれており、この「para」は、「paralegal: 弁護士補助員」、「parachute: パラシュート」、「paramedic: 医療補助員」に使われています。

「para」は、「come alongside: ぴったりと一緒に、そばにいて助ける」、助ける人という意味です。あなたが救われる前、あなたがイエス・キリストの救い知識にいたるまでは、聖霊はあなたのそばに居るのです。これが、3つのギリシャ語の内、1つ目です。

2つ目は次の節、ヨハネ14:17に書かれてあります。

ヨハネ14:17

“その方は真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに**住み**、あなたがたの**うち**

におられるからです。”

② in :内に、中に

これが2番目の言葉で、ギリシャ語で「EN」、英語で「IN」です。

聖霊は私の側にいて、そして私の内にいて、私の中に住んでいる。

そして3番目は、使徒の働き1:8にあります。

使徒の働き1:8

“しかし、聖霊があなたがたの上に**臨まれる**とき、あなたがたは力を受けます。”

③ Upon:上に臨む

ギリシャ語では、「epi」、英語では「Upon」です。

聖霊は、私たちの①側にいて、②内に住んでいて、そして③上に臨まれる。

この聖霊の例えを、写真を使ってお見せしたいと思います。今までで一番良いと思った例えで、水(聖霊)とグラス(人)の写真です。



① Para/Alongside/側に居る

聖霊(水)は、あなた(グラス)の側に居ます。



② En/In/内に住む

そして、あなたが新しく生まれた時(ポーンアゲイン)、聖霊(水)は、あなたの内に、中に入り、住まわれる。



③ Epi/Upon/上に臨む

特にこれに注目してください。

聖霊が、あなたに臨まれる。あなたの上に注がれ、溢れ流れる。イエスは言いました。「だれでも渴いている者に、私は生ける水を与えよう。」(ヨハネ 7:37-38)そして、それは、力強い、激流の水なのです。それが“臨む”という事。

今までに、洪水がどれだけの力があるか見た事がありますか？家や建物が、楽々と流されていくのを。そのように、聖霊が臨み、注がれ、満たされるというのは、激流のような力強さなのです。私はこれが欲しいです。あなたは欲しくないですか？

ところで、これは多くの事を説明していると思いませんか？なぜ、私たちは、現在の人生の状況の中で、こんなにも力が無いのでしょうか。肉は望んでいるのに、どうして霊は弱っているのか。なぜ、霊はとても弱く、力が無いのか。私は、聖霊が私の上に注がれる事が必要です。それによって、私の人生は力がみなぎり、生ける水が流れるのです。これが聖霊、これが聖霊によるバプテスマです。

「では、先生。私が救われた時、聖霊が私の内に住んだが、私に力を与える聖霊は受けていないという事ですか？」——はい、そうです。

「では、もうこの教会には戻って来ません。」——このようには、感じてほしくはありません。私が言うことを聞いてくださる事を願います。なぜなら、信じる者の人生には、聖霊の働きの現れがあるからです。それは、聖霊が臨むことや、内に住む経験です。

使徒の働き 8 章を見てください。

使徒の働き 8:14-15

“さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。”

どういことですか？彼らは神のことばを受け入れ、主を受け入れたのに、まだ聖霊を受けてなかったのですか？——はい。ではどうしましょうか？

使徒の働き 8:16

“彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下って(Upon)おられなかったからである。

——“下って(Upon)”です。水のバプテスマは受けていたのです。そして、

使徒の働き 8:17

“ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは**聖霊を受けた**。”

使徒の働き 19:1

“アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を通過してエペソに来た。そして幾人かの**弟子**に出会って、——”
——“弟子”です。イエス・キリストを信じる者、従う者です。

使徒の働き 19:2-6

“「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは、「いいえ、聖霊の与えられることは、聞きもしませんでした。」と答えた。「では、どんなバプテスマを受けたのですか」と言うと、「ヨハネのバプテスマです」と答えた。そこで、パウロは、「ヨハネは、自分のあとに来られるイエスを信じるように人々に告げて、悔い改めのバプテスマを授けたのです」と言った。これを聞いたその人々は、主イエスの御名によって、バプテスマを受けた。パウロが彼らの上に手を置いた時、聖霊が彼らに**臨まれ(Upon)**、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。

“**臨まれ(Upon)**”です。そして、彼らは異言を語ったり、預言をした。ここで、「ああ、出たよ、」と思う人がいるかもしれません。大丈夫です。この疑問にも答えていきます。次に 7 節からです。

使徒の働き 19:7

“その人々は、みなで 12 人ほどであった。それから、パウロは会堂に入って、三か月の間**大胆に語り**、——”

大胆さはどこから来るか知っていますか？大胆さは、デウナミスの力からです。私が聖霊のバプテスマを受けた時、すぐに気が付いたことと言うのは、祈っている時の異言ではなく、大胆さだったのです。私は、主にある新しい力、大胆さと自信を得た。それは今まで知らなかったものです。

使徒の働き 19:7

“——三か月の間**大胆に語り**、神の国について論じて、彼らを説得しようと努めた。”

これは聖霊の力から来ているのです。では、次の質問です。

Q3: どうすれば、聖霊のバプテスマを受けるのか？

どうすれば、聖霊を受け取り、聖霊のバプテスマを受けれるのか？

皆さん、準備は良いですか？あなたは、ライセンスを取れる 12 週間のコースを受けなければなりません。冗談です、違います。あなたは、何をする必要がありますか知っていますか？準備を良いですか？答えはこれです。

「**求める**」——え、それだけ？はい、「ただ求めるだけ」。

ヤコブが言っています。「あなたのものにならないのは、あなたが願わないから(ヤコブ 4:2)」。

ヤコブ 1:17

“すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。”

では、聖霊の贈り物は？私のもので無いのは、私が求めているから？ここで疑問があります。では、「どうして、私は求めているのか？」それは、私はこう考えます。神が私たちに与えたこの力ある聖霊の贈り物の美しさを、過度のペンテコステ派が傷つけたと。正直に私の経験から話しています。

ルカ 11:9-13

“わたしはあなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。あなたがたの中で、子どもが魚を下さいと言うのときに、魚の代わりに蛇を与えるような父親が、いったい”いるのでしょうか。卵を下さいと言うのに、だれがさそりを与えるでしょう。してみると、あなたがたも、悪いものではあっても、自分の子どもには**良いもの**を与える事を知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして**聖霊**を下さらないことがありましよう。”

——“聖霊”です。ただ神に、単純に求める者に与えられる。

最後の質問です。難しいものです。

Q4: 異言を話すことは、聖霊のバプテスマを受けたことの唯一の現れか？

答えは、「違います。」

使徒の働きには、手を置いて祈る箇所が5つ出てきます。ところで、聖霊を受けるために、手を置いてもらう必要は無いのです。私は、聖霊のバプテスマを受けるために、誰にも手を置いてもらいませんでした。あなたは、今日ここで、あなたが今いる場所で、受けることが出来るのです。今いる場所で求めることができ、聖霊を受けるのです。私は、今日、あなたがそれをする事を願っています。

使徒の働きに、手を置いて祈り、人々が聖霊を受ける箇所が5つ出てきますが、5つの内3つに、異言を語った事が書かれています。他の2か所は違います。

繰り返しますが、聖霊を受けたことから来る主な証拠は、力と大胆さです。これが主要な証拠です。

ところで、聖霊の賜物について強調するのではなく、聖霊の“実”について強調したいと思います。聖霊のバプテスマを受けた人は、聖霊の実である“愛”があります。彼らは愛するようになる。それが聖霊の実です。問題は、賜物は突然の出来事で受けます。それは良い事です。ではなぜ、賜物が強調され、実は強調されないのか。それは、実は時間をかけ、プロセスを経て成長するものだからかもしれません。

ガラテヤ 5:22-23を見ていきたいと思います。これは有名な箇所です。ここに出てくる“実/fruit”は単数形であり、“fruits”複数形ではありません。

ガラテヤ 5:22-23

“しかし、御霊の実は愛、——”

聖霊の実=愛です。では、愛から何が出てくるのか。

“——喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。”

最後に、もう一つに例えをお話したいと思います。あなたがホノルルの街に居るとして、「カネオへまで 13 マイル」という看板を見ます。その看板は、あなたの最終目的地であるカネオへまでの正しい方向を示しており、その目的を果たそうとしています。そして、あなたがカネオへに着いた時、街にあった看板はその目的を果たしました。だからといって、その看板を取り壊しに行く事はしませんよね。その看板はそこにあり続けます。私たちが最終目的地へ導くという、その目的を果たしただけで、何も変わりません。同じように、イエスが私たちの救いという最終目的を果たす為に、初めて地上に来られた時、イエスは、私たちがイエスに向けさせる律法の目的を果たしたのです。なぜならすべての律法は、自分自身を示します。律法は、自分が罪人であり、神の律法を破っていると示すのです。そして、自分が神の律法を破っているなら、死の報いがある。罪の報酬は死。そして、自分には救い主が必要だと気づくのです。なので、律法は私を、キリストへと指し示している。キリストは私のために、私の代わりに律法を成就させた。学校の指導員のように、律法は私を、イエス・キリストへと向けさせる。

祈りましょう。

天の父よ。聖霊をありがとうございます。私たちがすべきことは、ただ求めるだけであるという事に、感謝します。私たちが求める時、私たちは聖霊を受けます。主よ。今、今日ここに居る人たちの中に、聖霊をまだ受けた事がない人がいるなら、彼らに聖霊を注いでください。今日、ただあなたに求め、そして今日、彼らが聖霊を受けるように祈ります。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 & 筆記 by 大久保まい